



虹色

＝発行＝
秋田県生涯学習センター
〒010-0955秋田市山王中島町1-1
TEL:018-865-1171
FAX:018-824-1799
E-mail:sgcen002@mail2.pref.akita.jp
編集:社会教育アドバイザー

基礎講座・実践講座が始まりました

学びから行動へ！生涯学習・社会教育関係者研修講座

今年度の研修講座は、テーマを「学びから行動へ！」とし、学びを行動へつなげる効果的な方策を探ることと、青少年の生き抜く力を育む地域の在り方を探ることを目指しています。5月24日（金）には基礎講座が、6月14日（金）には実践講座Ⅰが、県生涯学習センターにおいて行われました。

基礎講座には、全県から県・市町村の生涯学習・社会教育主管課職員、公民館等社会教育施設職員、生涯学習奨励員、社会教育委員130名の参加がありました。

基礎講座

学びから行動へ！ イチから始める生涯学習・社会教育



「秋田県の生涯学習・社会教育施策の重点」について県生涯学習課戸部副主幹から説明がありました。



職務別研修第4分科会では、頭と心をやわらかくレッツ・アイスブレイクから始まりました。



日ごろの活動について、楽しく元気な、そして熱心な報告で盛り上がりしました。

「学びの成果を行動へ～これからの生涯学習支援の視点～秋田大学教育文化学部原准教授より生涯学習と地域活性化、地域づくりについて講義がありました。



課題をマッチングするワークショップを行いました。



各班の話し合いの結果を見合いました。



班代表の説明です。

実践講座Ⅰ

学びの成果を地域の力に！



～講義から～
企画のポイントは、
・参加型学習
・成果の「見える化」
・成果を地域で生かすです。

～ワークショップから～
事業名は「冠婚葬祭 発見伝」が魅力的ですね。
受講者が、次年度の講師になるという、継続の視点も入れましょう。



6月14日（金）実施の実践講座Ⅰでも、秋田大学原准教授を講師に、地域のよさを発見し生かす、魅力ある事業計画を作る研修が行われました。

今、考えたい!子どもたちのインターネット利用問題

秋田県家庭教育担当者等研究協議会が、5月15日県生涯学習センターで行われました。今年度の県施策「大人が支える!インターネットセーフティの推進」の協働実施主体「子どもたちのインターネット利用について考える研究会」の高橋大洋氏の講話の一部を紹介します。

子どもたちの利用の特徴

相互発信/参加が基本

ヒマつぶし、スキマ時間を活用

「第三の居場所」としてのインターネット

交流サイトでは、日常を見られる。社会に出る際には、これまでのオンライン上の情報発信が新卒採用の重要な武器にもなる。また逆にリセットが必要な人もいる。交流サイト等による情報発信は、将来への影響があることを知らなくてはならない。

隠れインターネット機器の増加

携帯型ゲーム機

娯楽タブレット

学習タブレット

携帯音楽プレーヤー

無料・高速接続環境が充実している。理想のインターネットデビューは「段階型」で、易しいものから徐々にが大原則。パソコンで始め、管理が難しいポータブル機器ではデビューさせないなどが家庭での取組のポイントである。

周囲が気付きにくい問題

悪意ある大人による「誘い出し」

不適切な発信によるトラブル

なりすましによる写真交換などに応じている内に、脅されたり「誘い出し」があるなど、性犯罪被害につながっていく。また、子どもたちの間では、メールやコメントの行き違いから、仲間はずれや悪口の書き込みに発展することが多い。また、一線を越えた投稿から犯人捜しをされ、個人を特定され、その記録が意に反して残るなど現実に影響が出る。

ありがちな誤解

大丈夫、知り合いにしか教えていないから!

人の噂も75日!時間が解決してくれる!

書いたのは自分だってバレないよ!

ネット上の出来事はすべて仮想世界の出来事!

ネットは世界中に開いている。個人が特定でき、一度載った情報は簡単にコピーされる。ネットは現実の社会と同じである。ルール作りに子どもを巻き込み、リスク理解と納得を図る。友人・同級生の保護者とも協力する。基本的なモラルを守ることや相談される親子関係の維持が重要である。

平成25年度、県教育委員会では「大人が支える!インターネットセーフティの推進」を実施しています。子どもたちによるインターネットの健全利用を目指し、社会全体でネットトラブル等から子どもたちを守り、環境を整えるという趣旨の事業です。

各学校へのコンテンツの提供やフォーラム開催の他、県庁出前講座の実施、地域サポーターの養成が計画されています。

当日の講話では、「普通のサイト」での「発信の失敗」が一番怖いこと、子ども自身の問題への気づきや判断力が不可欠であることが、まとめとして指摘されました。

県では「ネットに少し詳しい大人」の輪をひろげることをポイントとして事業を推進しています。

参加しませんか!

美の国アケビカレッジ

D 講座

復興支援のかたち

が始まります。

D-1

東日本大震災の水産被害と
水産復興支援

7月20日(土)10:00~11:30

会場:生涯学習センター

受講料:400円

申込は生涯学習センターまで